

第 104 回 火力専門委員会 溶接分科会 議事録

I. 日 時：2025 年 2 月 14 日（金） 13 時 30 分～15 時 30 分

II. 場 所：WEB 会議(Webex による)

III. 出席者：鈴木（三菱重工）、岩井（東芝）、佐藤（JERA）、飯田（JERA）、
長谷川（発電技検）、飯島（日本溶接協会）、高内（神戸製鋼）、新井（三菱重工）、
後藤（関西電力）、西尾（北陸電力）

欠 席：幅野（IHI）

事務局：中村

IV. 配付資料

104-1 溶接分科会委員名簿

104-2 第 110 回火力専門委員会議事録（案）

104-3 第 112 回規格委員会議事次第（案）

104-4 規格委書面投票 No.656 事例規格案の承認の投票結果

104-5 発電用火力設備規格 詳細規定 第Ⅶ章改定案の修正案

104-6 2028 年版（仮）発電用火力設備規格 改定作業の分担

V. 議事（前回会議の議事録は承認済みのため確認なし）

1. 分科会委員の承認

【資料 104-1】

なし

2. 報告事項

(1) 火力専門委員会報告

【資料 104-2】

11 月 26 日開催の第 110 回火力専門委員会の主要項目が報告された。

○溶接分科会委員の承認 （新任）なし

（退任）なし

（再任）なし

○溶接分科会の次回改定の委員分担案検討の報告

○書面投票結果報告

・規格委 書面投票 No.648（基本規定改定案の承認）の可決要件を満足

○審議事項

・規格委 書面投票 No.648（基本規定改定案の承認）の意見対応案の承認

・「JCC141TB に関する事例規格案レビュー」の火専メール審議及び規格委書面投票実施の承認

(2) 規格委員会報告

【資料 104-3】

12月24日開催の第112回発電用設備規格委員会の議事のうち、火力関連事項に関して報告された。

- 火力専門委員会審議（発電用火力設備の基本規定改定案の書面投票の提案）
- 火力専門委員会報告

(3) 規格委書面投票 No.656 事例規格案の承認の投票結果 【資料 104-4】

意見付き反対票はなく、投票数26の3分の2以上である26票の賛成票が得られたため、可決要件を満たした。

4. 審議事項

(1) 発電用火力設備規格 詳細規定 第Ⅶ章改定案の修正について 【資料 104-5】

鈴木主査より公衆審査用の詳細規定第Ⅶ章改訂案の章改訂案の誤記の箇所の説明があった。

12/24 開催の規格委員会にて発電用火力設備規格の公衆審査実施が承認されたが、詳細規定の第Ⅶ章の改定案において一部規格案に誤記が見つかったため、再度修正案を火力専門委員会及び規格委員会の書面投票にかけ承認が得られた後に公衆審査を開始する。誤記の場所は QW-432_認証用溶接電極及び溶加棒の分類の表（11/17）であり、レビュー表から挿入する表を間違えたまま、最終承認がされている。このため、改めて誤記修正後の改定案を次の火力専門委員会にて提案すること、提案内容は誤記を修正した箇所のみとすることが承認された。

(2) 発電用火力設備規格 詳細規定 公衆審査用新旧対比表へのコメントについて

（※添付資料なし：資料は 2/14 の送信メール「件名：【修正依頼】 JSME 火力 詳細規定：202X 年版 新旧対比表修正について」に添付）

鈴木主査より、公衆審査用新旧対比表の修正要領について説明がされ、要領に従い担当各委員が修正を行うことが了承された。内容は以下のとおり。

- ・第Ⅵ章：アーティクル 2/アーティクル 4/アーティクル 4 図/アーティクル 6/アーティクル 9、第Ⅶ章；QW-400～424 の公衆審査用新旧対比表について、改定内容欄はすべて黒字の下線無しとすること
- ・第Ⅵ章：アーティクル 2 図の旧の欄に記載の「表現の修正」の吹き出しを削除し、「2015」の朱書き・下線の記載を黒字の下線なしとすること。改定案の欄＜202X 年版改定案＞の「表現の修正」の吹き出しは削除し、「改定」の赤字下線を黒字下線なしとすること
- ・第Ⅵ章：アーティクル 4 とアーティクル 4 図で、202X 年版で新たに取り入れた規定の改定内容は「①ASME 改定の取入れ」のみとし、他の改定内容は削除すること
- ・説明に使用した修正要領を記載した資料は、別途鈴木主査より担当委員に送付する
- ・2/21 までに修正を完了する

(3) 2028 年版（仮）発電用火力設備規格 改定作業の分担

改定作業の担当者及びチェック者の分担表が提示され了承された。

また、レビュー表についての構成及び作成要領の説明がされ、以下の内容について確認された。

- 現在の JSME 規格（2025 年版）及びその基準となる ASME 規格（2011 年版）を記載し、JSME 規格（2028 年版（仮））改定案の基準となる ASME 規格（2023 年版）の変更箇所を確認し、JSME 規格（2028 年版）改定案を作成する。
- 担当者がレビュー表作成後、ダブルチェック者のチェックコメントを記入する。担当者はダブルチェックコメントを確認し、改定案に反映し結果をコメント欄に記入する
- 作成したレビュー表に基づき審議を行う
- 2025 年版の ASME の入力データは各委員所有のデータを使用する
- レビュー表に二つある「変更区分」のうち、保安水準に関わる「変更区分」を「影響区分」に記載を変更する
- 2025 版 JSME の電子データは公衆審査用の新旧対比用のデータを活用する
- 新旧対比表に記載の文章が図として貼付けてある場所があることから、図の箇所を改めて文字打ちする手間を省くため、ワードの元データとなる 2012 年版の電子データの所在を事務局より提示する → 電子データ保存場所：CS キャビネット/規格出版原稿閲覧室/火力専門委員会
- レビュー表 2025 年版 JSME は最新の新旧対比表（CS キャビネット/溶接分科会/O5_201X 年版提案資料第Ⅵ章/11_公衆審査用新旧対比表）より引用する

5. 次回開催予定

開催日時：2025 年 5 月 23 日（金） 13 時 30 分～17 時

開催方法：Web

以 上